

教育厚生委員会

期日：11月13日～14日

委員長：高野 市郎

■「子ども・子育て分野の総合的計画について」（栃木県宇都宮市）

栃木県宇都宮市では「第2次宮っこ 子育て・子育て応援プラン」において、すべての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持って心身ともに健全に成長できる環境を整備し、子育て家庭が安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指していました。家庭、学校、地域、企業、行政が連携し、子ども・子育て分野における環境の変化や子どもの声を踏まえた施策を構築していました。宇都宮市の子ども子育てにおける支援は、市民、特に支援を受ける子どもたちの意見を取り入れるなど、効果的かつ効率的な計画の策定から始まり、様々な子育て支援施策を市民へ周知し、なおかつ若い世代の意識向上を図るプロモーションを行うなど、本市において非常に参考になる部分が多くありました。



■「複合交流拠点施設 ^{もなか} monaca について」（栃木県真岡市）

複合交流拠点施設 monaca は、老朽化していた図書館と子育て支援センターを統合し、屋内外子ども広場や地域交流センターを合わせた複合施設として、公共施設の集約や中心市街地活性化を目的に新庁舎周辺整備事業として建設されました。特徴的であるのが、運営方法を指定管理者から市民協働型運営に移行する準備が進められていることです。また、運営に市民の力を積極的に取り入れている事や、館内の飲食が一部可能であることなど柔軟な運用方針が取られていることでした。また、子育て支援センターや遊び場と併設されているため、休日は子ども連れの家族が集まるなど、人が集い憩う場所となっていました。フロアごとに用途を明確化し、年齢を問わず、すべての市民に開かれた複合施設として特色ある運営が行われていました。



今回の行政視察研修により得られた知見は、本市においてより良い施策へと活かせるよう努めていきたいと思えます。

所管事務調査

経済建設委員会

期日：11月19日

委員長：伊勢山 仙寿

■市内現地調査

建設部都市建設課より、現在、事業実施中の8事業、33路線の説明を受けた後、主要路線の整備状況の現地調査を行いました。現地では、令和7年度の進捗状況、次年度以降の整備予定等の確認をしました。

整備中の箇所については、今後も事業が円滑に進むよう、有利な財源を検討し、事業が加速するよう財源の確保に努めること、また、令和8年度には東関東自動車道水戸線が全線開通、国道355号バイパスも完成することから、市道（麻）1-17号線は今後の改良計画においても早急に対応することが重要だと考えます。なお、国道については、国道354号、国道355号の舗装が痛んでいる箇所が見受けられたため、県に要望していかなければならないと考えています。

